

## 那須与一公ゆかりの地(史跡) ・城巡りバスツアー

### ①ゆかりの地(史跡)巡り

- 日時 10月10日(木) 午前8時45分集合  
午前9時出発 午後4時解散
- 集合場所 那須与一伝承館 北側駐車場
- 見学場所 光厳寺、駒込の池、玄性寺、永興寺、福原城址、福原千手院跡、那須官衙跡、那須神社(大田原市内) ほか
- 定員 18歳以上の市民30名(先着順)
- 参加費 1000円(昼食、保険料を含む)

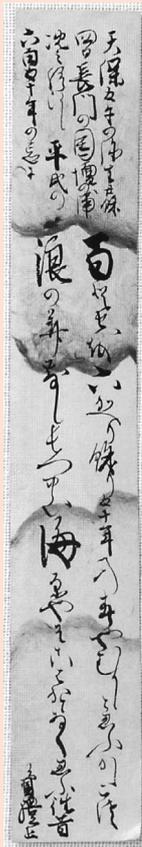
### ②ゆかりの城巡り

- 日時 10月24日(木) 午前8時15分集合  
午前8時30分出発 午後4時解散
- 集合場所 那須与一伝承館 北側駐車場
- 見学場所 高館城址、福原城址(大田原市)、神田城址(那珂川町)、稲積城址(那須烏山市)、千本城址(茂木町) などを予定
- 定員 18歳以上の市民20名(先着順)
- 参加費 1200円(昼食、保険料を含む)

○申込方法 9月10日(火)～20日(金)  
に電話で那須与一伝承館まで申し込み  
(午前8時30分～午後5時15分)

※定員になり次第締め切り

問 申 那須与一伝承館 TEL (20)0220



和歌短冊(那須資礼)  
(那須家所蔵・当館寄託)

今回は那須与一伝承館が収蔵する資料の中から和歌短冊(那須資礼)を紹介いたします。本品は、元暦二年(一一八五)に長門壇ノ浦で滅亡した平家一門の六百五十回忌にあたる天保五年(一八三四)に、那須家当主の那須資礼(一七九二―一八六一)が詠んだ和歌二首です。平曲を好んだ資礼らしく、壇ノ浦の戦いに散った平家を懐かしむ和歌を詠んでいます。

問 那須与一伝承館  
TEL (20)0220

○和歌短冊(那須資礼)(翻刻)  
(題)  
「天保五年の弥生廿餘四日 長門の国壇の  
浦沈み給ひし平氏の六百五十年の忌に」  
百とせを六かへり余り五十年の  
春やむかしと忍ぶかしこさ  
浪の華散し長門の海原や  
そこはかたなく忍ぶ往昔  
資禮上

## 那須与一伝承館通信(第29回)

### 和歌短冊(那須資礼)

## 彫刻

### 市内で作られた作品とその作者

## 周遊 59

このコーナーは、「那須野が国際彫刻シンポジウム」で公開制作、設置された作品とその作者を連載で紹介いたします。

この作品は大田原市役所湯津上庁舎に正面入り口から入るとすぐ向かいの柱の前に設置してあります。



この作品は異国風で鋭い牙の生えた顔が5つ、縦に積み重なっています。これは韓国に伝わる「トッケビ」と「チャンスン」というものを連想させるもののようなものです。「トッケビ」とは日本の昔話に出てくる「河童」や「小鬼」、「狸」のような立ち位置の妖怪で、人にいたずらをしたり、勝負を申し出たりするそうです。また、鬼ごっこのような感覚のトッケビ遊びというものもあるそうです。「チャン

スン」とは守り神の様なもので、木や石でできた柱に人の顔を彫ったもののようなものです。一般的には男女一対のもので、日本では將軍標と呼ばれているそうです。



シン ボンサン 氏

作品は木製ですが、全体的にくすんだ鉄の様な色に塗られ、鮮やかな金色で装飾を施されています。作者は、この作品を通して韓国の「歴史意識」や「文化的情緒」などを現代に伝える事を願いました。

### 設置場所案内図(★印)



作者は韓国出身のシン・ボンサン氏。弘益大学大学院を修了後、多数のイベントで招待を受けたり、審査員をしたりと活躍をされました。

コリア ファンタジー おとぎばなし  
KOREA FANTASY(韓国の御伽噺)

シン ボンサン  
申 範相 韓国 2005年

問 文化振興課湯 TEL (98)3768